

令和3年度(2021年度) 学校法人福島聖心学園各幼稚園の事業報告書
【二本松カトリック幼稚園】

当幼稚園における令和3年度事業内容につきまして、下記のとおり報告いたします。

1. 項目別

| 項目 | 計画(=Plan) | 実行(=Do)／ 評価(=Check) | 改善(=Action) |
|----------|---|--|---|
| 教育目的 | この幼稚園は学校教育法第22条及び23条に従って幼児を保育しキリスト教に基づき、幼児に適当な生活環境を与え、心身の正しい発達を助長すると共に、道徳的心情、将来の善良なる社会人の健康と特性との基礎を作り家庭教育を補うことを保育の目的とする。 | 幼稚園教育要領等に基づき、教育活動を実施した。園児一人一人大切に保育にあたり、特に地域の教育資源を生かし、特色となる取り組みを心がけた。令和4年度の定員充足には僅かに及ばなかったが、卒園児、地域住民に深く愛され、地域に開かれた幼稚園として、目的を果たしている。 | 令和4年度についても教育目標に添って、職員の連携を一層強化しながら更なる教育の充実を図り、保育を進める。更にその充実した内容が広く周知されるように取り組んでいく。 |
| 年間行事について | 積み重ねと継続を大切に、各種行事を挙げる。予定の詳細については、幼稚園の年間行事予定表を作成及び公表する。 | コロナ感染予防のため、始業式、終業式は密にならないよう各クラス別に分かれて実施した。運動会等についても演技時間の短縮、演技内容の簡略化を講じた。買い物ごっこ、ハロウィン等、保護者のお手伝いを頂き、感染予防を徹底し内容の充実をさせ、計画とおりに実施した。 | 今後はコロナ感染予防に対応した継続的な行事スタイルが必要になる。今日に至るコロナ禍での行事実績を参考に参考に対応して行きたい。 |
| 新規事業について | 年中保育室改修工事 ・ロールスクリーン取り付け ・床改修 ・各保育室ホワイトボードに改修 | 各保育室の床を補強して貼り換え、ロールスクリーンを設置し、保育室の補修を行った。工事にあたっては配色に配慮し、保育にふさわしい環境づくりに努めた。 計画通りに執行し、環境整備を図ることが出来た。 | 今後は維持管理に努める。 |
| | 遊具の安全マット設置 | 体操教室に伴い園児の安全を考慮し柔らかさ、清潔、クッション性の良いマットを購入した。計画とおりに執行し、体操教室の整備を図ることが出来た。 | 今後も定期的にマットを点検し、維持に努める。 また、設置されている遊具の使用の安全性を図るための更なる措置が必要である。 |

| | | |
|-----------------------|--|---|
| 園駐車場のロープ張り工事 駐車場整備 | 園児の送迎に伴う駐車場の安全管理を行う上、駐車スペースを明確にする為、15台分の区分を行った。職員の指示のもと安全、スムーズに駐車する事が出来た。 | 今後も事故、トラブルの無いように、維持管理に努める。 |
| 年中保育室2部屋 床改修工事 | 年中保育室の床を補強して貼り換え、補修を行った。工事にあたっては配色のバランスを配慮し、保育にふさわしい環境づくりに努めた。計画通りに執行し、環境整備を図ることが出来た。 | 今後は維持管理に努める。 |
| 職員室改修工事 | 職員室の執務スペースを確保するために隣接した保育室の壁を補修し、仕切り壁及び収納棚を設置した。 計画通りに執行し、環境整備を図ることが出来た。 | 職員室の執務スペースが狭いため、職員室全体の改修が課題となるが、予算の配分を考慮した措置が必要である。引き続き、備品の整理整頓及び適切な維持管理に努める。 |
| 幼児教育研究会の入会 | 教職員の仕事や保育の資質向上のために専門的な視点や学びが必要と判断する。事業計画にはないことだったが幼稚園の継続と発展の為に必要と考え入会した。 | 仕事をする上での心構え・園児や保護者への接し方・教育環境について、振り返り学ぶ研修機会を設けていく。 |
| 幼児教育研究会の研修費 | 全職員対象に基本的な心構えやマナーを学ぶ。年度内に4回、全職員を対象に1日研修を園内にて行う。教育目標の確認や挨拶、仕事をする上での心構え、園児や保護者への接し方や環境整備について振り返り学ぶ事が出来た。 | 令和4年度は年度始めに園内個別研修を実施し、職員としての振り返り心構えを学ぶ。 |
| スマートフォン購入 | コロナ禍の中、急を要する連絡、指示の一環として職員、保護者の連絡、お知らせを実施するためにスマホを購入した。連絡を密に図ることが出来た。 | 今後は維持管理に努める。 |
| リトミック研修会の派遣 | 本園の保育活動にリトミックを導入するにあたり、教員が指導者としての専門的なスキルを取得することが必要であった。人 | 今後は、段階的に教育内容を検討し、園児の音楽教育の充実を図って行く。 |

| | | | |
|--|-----------------------------|--|--|
| | | 材育成の一環として研修会に教員2名を派遣し、指導資格を取得した。 | |
| | 防災用マット購入 | 不測の震災等における園児の安全確保のため購入し、避難訓練においても使用するようになった。 | 今後についても、衛生管理及び維持管理に努め、園児の安全確保用として使用していく。 |
| | パソコン、ネットワーク環境の充実サポート | 無線LANの接続不具合が常態化しており、データの管理、維持の為、専門家へ依頼対応の為、起案した。 | 今後は定期的な換気を実施し、感染予防に努める。 |
| | UTM「セキュリティ装置」HOMETYPE リース契約 | 本園が所有する大事なデータを保存管理することが重要であった。専門家にウイルス感染、故意の操作により紛失、損害が無いよう依頼する。 | 今後は維持管理に努める。 |
| | 保温機購入 | 園児が美味しくお弁当を食べられるよう食育の一環として保温機を購入した。 | 今後は維持管理に努める。 |
| | ノートパソコン購入 | 事業計画には無かったが、職員の事務作業の効率化を図る為、パソコンを増設した。 パソコンを増設する事により作業の効率化が進み、データの共有・保存などを整理することが出来るようになった。 | 今後は維持管理に努める。 |

2. 総括

教育課程、施設設備、人材育成の3分野に大別して、自己評価したところ、計画は概ね目標は達成された。理由は以下のとおりである。

園長のリーダーシップの下、建学の精神である聖ドミニコ会が掲げる「真理」を保育活動、預かり保育、事務の諸活動に浸透させてきた。また、その実践が学園主催の研修会等で共有し、教職員間で深めることができた。教育課程については、コロナ禍のため中止になった活動があるが、年間計画、月案、週案においてPDCAサイクルを確立して、改善を図ることができた。施設設備の整備は、概ね完了し、現状の教育環境を最大限生かしたものとなり、老朽化を感じさせない教育環境を整備した。

今後は、これまで本園において蓄積してきた保育実践に基づいた知見や技術及びその感性をしっかりと継承していくことが課題となり、園長をはじめとする教職員のたゆまぬ努力がこれまで以上に必要となる。